

あべともこニュース

人間の尊厳の回復を目指して

◆令和7年度水俣病犠牲者慰霊式

1日、「令和7年度水俣病犠牲者慰霊式」に衆議院環境委員長近藤昭一議員らと共に参加。水俣病は公式確認から今年で69年。穏やかな不知火海を突如襲った「水銀汚染」の風化が懸念されています。

昨年は患者・関係団体の皆さんと環境省との意見交換の際、「マイク切り」が行われ、国の不埒な姿勢に大きな批判が起こりました。今年は、2日間という意見交換の場を浅尾大臣が設けたものの、被害者救済に向け具体的な発言は何もなかったと。

阿部とも子らも式典後に、関係の皆様のお話をお聞きしましたが、認定に際しても個人情報保護の観点もなく、一方的審査プロセスで被害者に寄り添わない行政への不信が語られました。遺族の方や児童代表が語る「祈りの言葉」にあるように、差別・偏見を超えた人間の尊厳の回復としての救済を求めて引き続き政府に働きかけます。

◆母の日にお米?!花より団子かな?

今年のお米!だそうぞうです。例年ならカーネーションとかケーキとか、少しおしゃれなものなのに、今年は何んといってもお米。それもそのはず、美味しいお米を手に入れようと思えば凄く高いし、家族でしっかりと食べたいと思っても今やパンより高くなってしまっています。

お米は日本の主食ですし、ヨーロッパなどでは主食のパンは安く手に入るような仕組みがあると言います。思い起こせば、昨年夏の令和の米騒動、スーパーの棚からお米が消えた!と大騒ぎでしたが、秋に頼みの新米が出ても値段は上がりそのままずっと高い。今年になって備蓄米が放出と言いますがやっぱり高い。

一方、農家も肥料代や燃料代の値上がりなどで、収入は時給十円にもならないか、赤字とか。どうすればお米をしっかりと作って貰って、私たちが心配せず食べられるか、まずは農家の「個別所得保障制度」を、と立憲は提案しています。

◆志村康さん、心よりの敬意とご冥福を。

2日、熊本県のハンセン病療養施設 菊池恵楓園で開催中の「戦争と医学」展の見学と、虹波治療実験について、当時のカルテを分析している園長からお話を聞きました。

満州の731部隊でも同様の虹波の実験記録があり、ハンセン病施設入所者が、自由を奪われた中で実験の対象となったことが想像されます。

これまでも同意書なき解剖や、結婚と同時に優生手術を受けさせられた過去、生まれ出ることを許されず墮胎された胎児、などハンセン病患者への人権蹂躪は数々あります。その事実を国の資料として残すべきです。そうしたハンセン病への差別的歴史に対して、尊厳の回復の先頭に立って戦ってこられた自治会長志村康さんが、この日、92歳で天国へ旅立たれました。教えに深く感謝し、心よりご冥福を祈ります。



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川県12区(藤沢市・寒川町) 当選9回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長 現在、環境委員会 原子力問題調査特別委員会委員



あべともこ 公式X (旧Twitter) @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko



あべともこ事務所 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ

検索



希望の鐘を打つ